

受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えます。



妹様と貞操帯付き

女装メイド

オナ禁
カネばよ(笑)
クソクソ

サイテー



オナニーばかりの人世を生きてきました。

精液とともに学んだ知識は流れ出て、
テイッシュユとともにゴミ箱へ。
だから大学には受かりませんでした。
浪人してもダメでした。

一方、妹は推薦で大学が決まりました。
それも僕が行きたかった大学よりも良い大学です。
つまりオナニストな僕は、妹に追い抜かれたのです。

結果、僕に与えられたのは『新しい環境』。
妹に勉強を教えてもらうという、屈辱の環境でした。

逆らうことなど・・・出来ませんでした。
大學に行きたいからという高尚な理由ではなく、
今という環境に浸つていたかかったから。
理由はそれだけです。

しかしそれさえも妹に大きく侵略されて行くのです。

「今日から大學に合格するまで、
男らしい衣服は嚴禁ね。
これ着ない。は。嚴禁ね。
これ以外は認めないから。
それと、合格するまでオナ禁ね」

あまりにもあつさりと言ひ渡された才ナ禁。

妹はその言葉が軽いもので証拠に

僕の大切な才子○子ンに、鋼鉄の檻を付けました。

世に言う『貞操帯』です。

妹の指定した衣装に着替えさせられ、

貞操帯を嵌められた僕は、母と妹に連行されるように

地元の駅に連れて行かれました。

受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えます。



受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



「ほら！
お兄ちゃんの話してるわよ。
もっと腰を突き出さない。
貞操帯がよく見えるようにね」

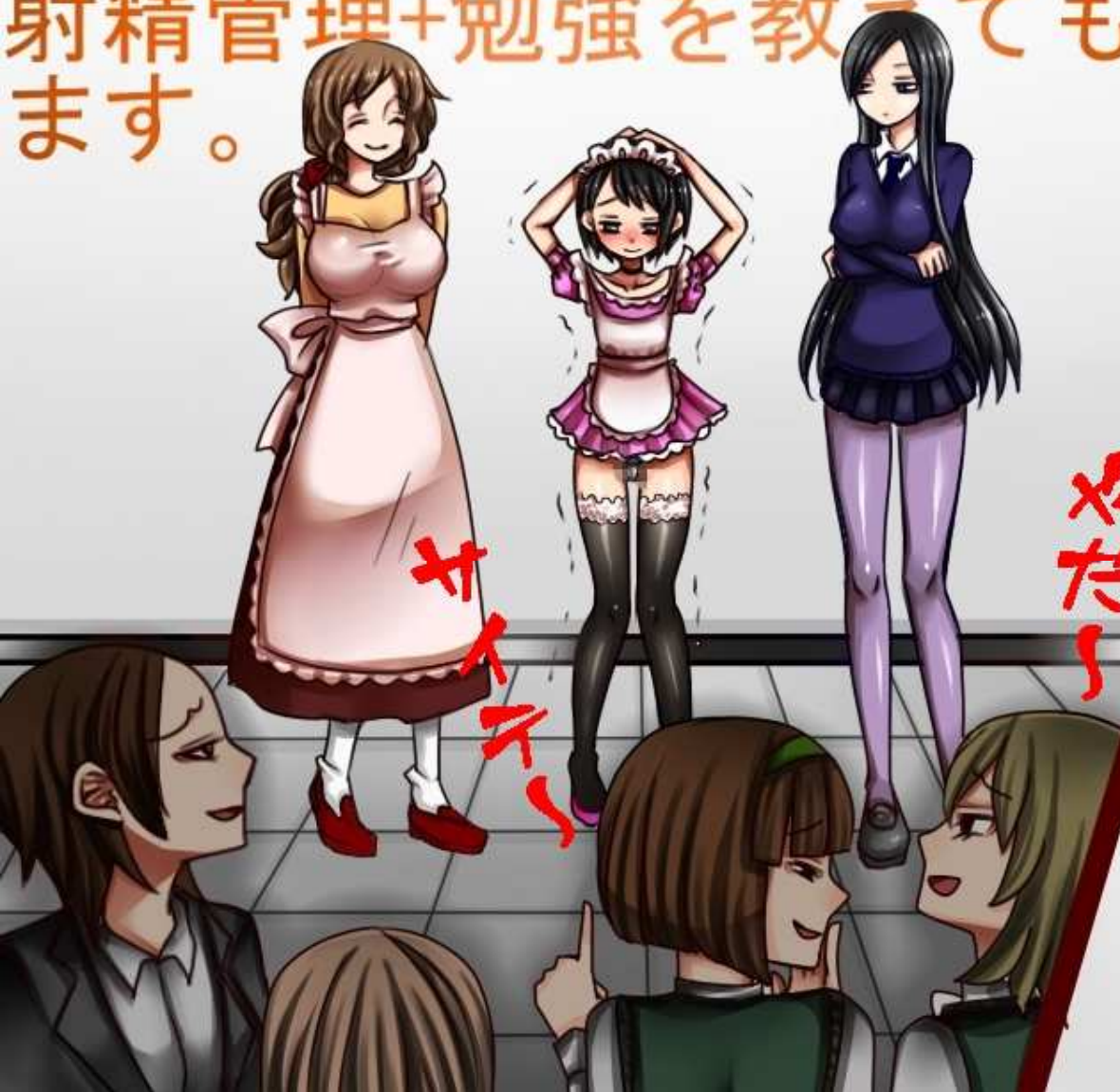
受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えます。



「何、泣きそうになってるのよ。
お兄ちゃんでしょ。我慢したら？」

「あの看板見て！射精管理+勉強だってえ！」
「妹だって！隣の背の高いのが妹さんかな？」
「そうじゃない？左はお母さんっほいし」

受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えます。



サ
イ
ス

め
だ
す



「受験失敗！
合格するまでオナ禁！
二年間ミニスカメイド服！
ダメなオナニストの兄ですって
あの娘達に自己紹介したら？」

受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



ダサくない？

カツコワル



「『オナニー大好きです。
だから大学にも合格できません』って
挨拶しなさい。
男なんだし、そのくらい出来るでしょ？」

受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



「ほ……僕は……
あの……その……
つまり……あの……」



受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えます。



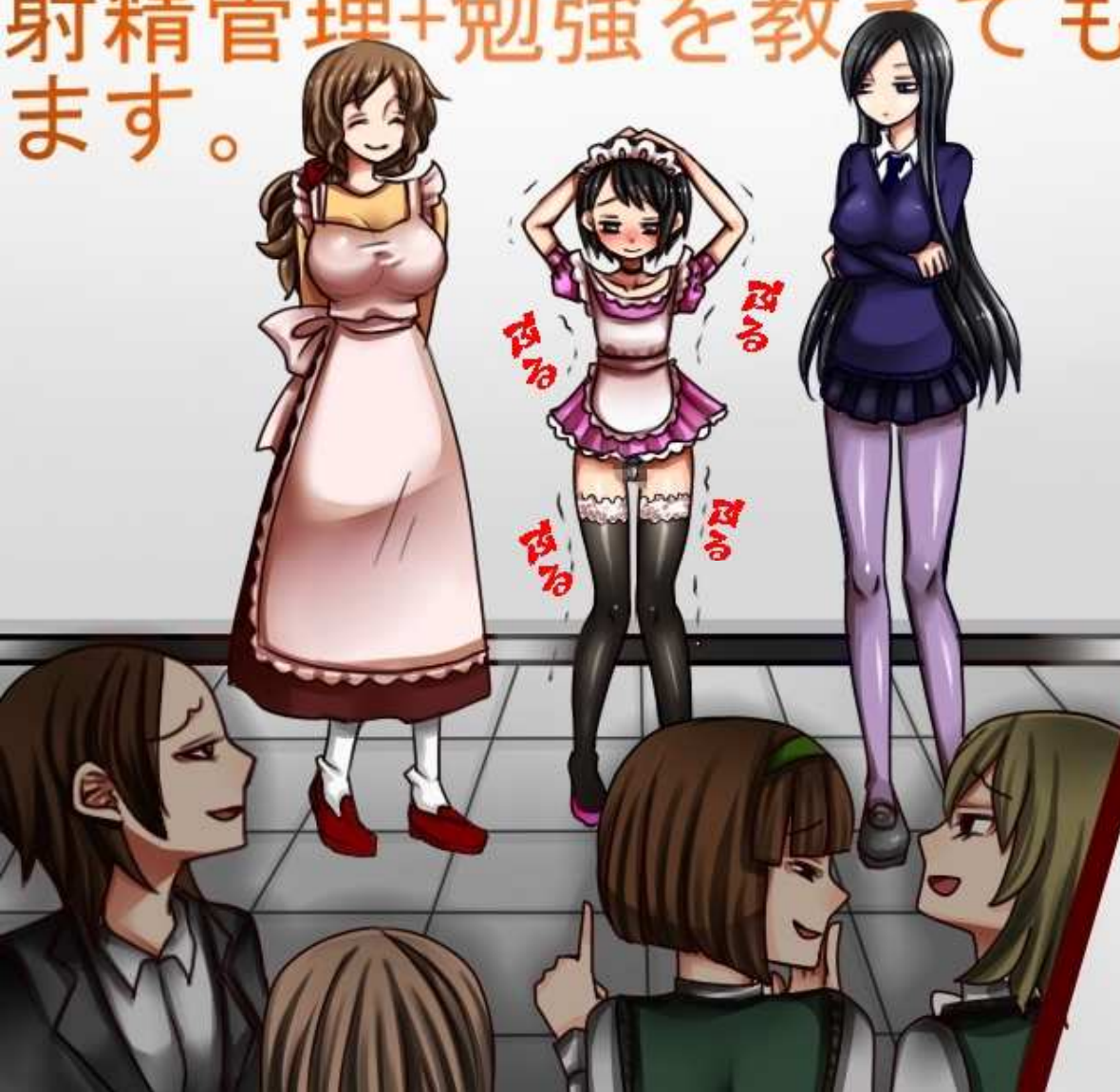
受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



受験失敗。
罰として今年一年“妹”に
射精管理+勉強を教えてもらい
ます。



「じゃあ、お兄ちゃんが
どうして立たされているのか
分かるように後ろの看板の文字、
大きくしてもらおっか」

おLW♥ おLW♥

受験失敗。

罰として今年一年“妹”に
射精管勉強を教
ます。



「やだ、看板の文字でっかくなっちゃった(笑)」
「あー、自己紹介できないんだし、しょうが無いね」
「勃起も出来ない、自己紹介も出来ないダメ兄貴だし、。ちょうど良いんじゃないね(笑)」

受験失敗。

罰として今年一年“妹”に
射精管勉強を教
ます。



「電子看板って便利だね。
自己紹介出来るようになるまで、
このまま、立たされたままだよ。
早く自己紹介したら？」

あんな大勢の前で、あんな恥ずかしい自己紹介
出来るはずありません。

結局僕は何も言えず、
ただひたすら通りすがりの人たちに
ハイパーミニスカメイド服（貞操帯がいつでも見えるver）
を見られ続けたのです。

帰り際、妹の言った

「来年も不合格だったら、
もう一年その格好でいてもらおうから。
分かったわね？」

と、という言葉が忘れられません。

こんな恥ずかしい思いは一生に一度で十分です。
僕は怖くなつて、一生懸命勉強しました。

まずは英語です。
もちろん勉強は妹が、二人つきりて教えてくれます。
その間、僕は御礼をしななければなりません。
妹が要求した御礼はコレでした。